

資料5 2011 年提案

- 提案 1 秋の総文祭放送部門大会のアナウンス・朗読部門の予選を行う
午前にアナウンス・朗読の予選、午後から全部門の決勝を行う

＊総文祭放送部門大会の個人部門の参加者が年々増えている。

2009 年度 アナウンス 37、朗読 40

2010 年度 アナウンス 48、朗読 62

→ 午後からの審査で全国3名、関東3名の県代表を決定する

- ・ 参加者が増え、時間がかかるようになった
- ・ 出演順による不公平感が参加者のアンケートに多かった
- ・ 2011 年度も増加が見込まれる（参加校が増えている）

- 提案 2 提案1を受け、アンデパンダン大会を3月に行う

- ・ 総文祭のアナ・朗を午前に行うとアンデパンダンの参加者は総文祭に、総文祭の参加者はアンデパンダンに参加できない。
- ・ 総文祭の予選を午前に行うと審査の補助員の確保、運営がスムーズに行うことができない。
- ・ 3月にアンデパンダンを行うと、進路の決定した3年生が現在よりも多く審査員を引き受けることができる。
- ・ 秋の大会の後の活動の活性化につながる。

- 提案 3 アンデパンダン大会の参加費を300円から500円に値上げする

総文祭と同日開催ということで、高文連から補助を受けていた。単独の開催と言うことで高文連の補助費を使えないので、現在の出費をまかなえない。